

2024年度
大阪府訪問看護実践研修
教育ステーション事業
豊能ブロック 実践報告



ももの木 訪問看護リハビリステーション

金澤 孝枝

活動目標

- ・ 豊能地域全体で病院やクリニック、行政と協働し、看看連携に関わる研修会を開催し、在宅支援や災害時の連携強化に努める
- ・ 電話相談、訪問看護体験研修、コンサルテーション事業を開催し、医療・介護の顔の見える関係づくりや連携の強化に努め、地域包括ケアシステムの構築を促進する



活動内容

①研修事業

- ・ 豊能看看連携研修会

②訪問看護体験事業

③電話相談事業

④コンサルテーション事業



研修事業：豊能看看連携研修会

2024年度 豊中市在宅医療・介護連携支援センター運営事業
大阪府訪問看護実践研修事業 豊能ブロック教育ステーション事業

病院



施設
在宅

参加無料

最期まで生ききるを支える 豊能看看連携の会

在宅医療が推進される中、患者や家族の意向を尊重しつつ、在宅支援者と連携を図る退院支援調整看護師の役割や負担は大きいと思われます。豊能地域で暮らす人々が、最期まで自分らしい暮らしを実現するために、私たちに求められている看看連携のあり方について、語り合ひましょう。

2024年12月12日木曜18:30-20:00

会場：豊中市立文化芸術センター

対象：地域で活躍する看護師・保健師

申込締切：2024年12月11日

申込方法：下のQRコードより↓

病院看護師



施設看護師



クリニック・訪問・行政



<申し込み/お問い合わせ>もの木訪問看護リハビリステーション

担当者：金澤 TEL：06-6152-7640 080-3801-4887（当日） F A X：06-6152-7650

テーマ：最期まで生ききるを支える 豊能看看連携の会

開催日：2024年12月12日（木）

場所：豊中文化芸術センター

方法：集合研修

結果

集合：目標31名/実参加70名

タイムスケジュール

18：30-18：40 本日のタイムスケジュール・目的について
開会の辞

18：40-18：50 アンケート結果紹介、事例説明

18：50-19：00 グループごとに自己紹介（10分）

19：00-19：30 グループワーク（30分）

①本人と妻（家族介護者）の意向（望み）は何か？

②在宅移行を阻害する因子は何か？

③在宅移行を促進するためには、どんなサービスや調整

ができるか？

19：30-19：55 各グループで発表（25分）

19：55-20：00 閉会の辞

20：00-20：30 閉会 after名刺交換や交流の場

アンケート結果より



アンケート回収数 69名/70名

今後の仕事に役に立つ内容か
「とても役に立った」と「役に立った」が100%

→内容は有意義なものであった
グループディスカッション
「十分議論できた」と「議論できた」が100%

→満足度は高かった
開催時間は良かった94.7%
あまり良くなかった5.3%
→全員が満足される時間設定には
至っていない

今後も看看連携の会に参加したい
「大変思う」68.4%、
「思う」31.6%

→全員が参加したいという結果
であった



考察

- 2019年から継続的に開催されている看護師交流会
昨年度 ハイブリット開催で46名（集合32、オンライン14）
今年度 集合研修で70名 **毎年増加傾向→認知度向上**
- 利用者の思いを尊重したい、添いたい、という看護師の思いは、働く場所が違っても同じ思いであることを再認識できた
- アンケート結果から、**地域に必要とされている研修会**であることを実感。次年度も継続して開催予定。

課題

- 開催回数を増やす取り組み等も検討
- 包括支援センターで勤める看護師の参加が少なかったもので、次年度は参加いただけるように広報活動に力を入れていく



訪問看護体験研修事業

2024年度大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業

訪問看護体験研修

研修
無料

対象 看護師、リハビリセラピスト、学生(高校生、看護学生等)
受付期間 2024年4月～2024年1月

内容 ①体験コース 1日
同行訪問(看護・リハビリ)、他職種連携について見学
訪問看護にすでに従事されている方のブラッシュアップ

②管理コース 1日
訪問看護の管理者を目指している方、または
管理者としてすでに従事している方を対象に、
マネジメントや事業運営等について共に検討します

申込方法 裏面のFAXかQRコードよりお申し込みください。

FAX:06-6152-7650



※ご相談内容は、事業報告書等に掲載する場合がございますが、ご相談をされた方や
ご利用者様の個人情報が特定できる形で公表することは一切ございません。

ももの木訪問看護リハビリステーション(担当:金澤)

〒560-0084 大阪府豊中市新千里南町2-12-10

TEL 06-6152-7640 FAX 06-6152-7650

訪問看護体験

目標 3名/実績 6名

内訳:

訪問看護師 1名

訪問看護師を目指す方 4名

病院看護師 1名

管理者体験

目標 1名/実績 1名



効果

看護師

入院前の生活を知ること、退院後の生活を見据えたケアや指導の必要性、連携の重要性を学んでいただくことができた

管理者

人材管理の課題についても共有でき、実習前より現実的に管理者の役割についてイメージしていただくことができた

課題

MCSなどでアナウンスができれば応募が増えた可能性がある

協カステーションの強みを活かしながら、地域で新規で立ち上げたステーションなどが、もっと気軽に利用できるような広報活動が重要

次年度は新規開設、協会未加入ステーションに広報活動を強化



電話相談事業

2024年度大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業

訪問看護「教育ステーション」
電話・FAX相談

相談
無料

看護師・ケアマネジャー・その他専門職の皆さまへ
教育ステーションでは、医療・看護・介護に関する
相談に対応しています。
たとえば…

- 訪問看護等の導入方法
- 訪問看護の制度に（請求業務・記録・書類関係など）
- 他職種とのスムーズな連携方法
- 家族・介護者への介護指導や支援の必要性の判断…など

窓口 ももの木訪問看護リハビリステーション
（豊能ブロック教育ステーション）

受付期間 2024年4月～2024年1月
相談日 月～金 9:00-17:00

電話:06-6152-7640

「電話相談です」とお伝えください

FAX:06-6152-7650

裏面のFAX相談用紙をご使用ください



↑こちらのQRコード
からもご相談いた
だけます

※ご相談内容は、事業報告書等に掲載する場合がございますが、ご相談をされた方や
ご利用者様の個人情報特定できる形で公表することは一切ございません。

ももの木訪問看護リハビリステーション（担当：金澤）

〒560-0084 大阪府豊中市新千里南町2-12-10

TEL 06-6152-7640 FAX 06-6152-7650

目標 26件/実件数 30件

相談内容

診療報酬関係 11件

実務相談 11件

指示書・記録関係 8件



電話相談事業を通しての気づき

効果

介護・診療報酬同時改定→改定の内容の問い合わせが増加

特に**介護報酬のリハ減算**

多くのステーションがよく理解できていないままに始動した印象

指示書に関する問い合わせが増加

解釈の難しさを実感

リピーターの方→相談しやすい雰囲気であると感じていただけた

課題

相談事業の周知徹底

相談窓口の自己研鑽

気軽に相談窓口に問い合わせできる環境づくり



コンサルテーション事業

2024年度大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業

コンサルテーションのご案内

本事業は、各分野の専門職に電話相談、同行訪問を依頼することができます。お気軽にご相談ください。

相談
無料

対象 豊能ブロック内の訪問看護ステーション

コンサルテーション方法 電話相談、対面、同行訪問にて対応

<内容>

- ①皮膚排泄・創傷ケア領域(皮膚排泄認定看護師)
- ②在宅浮腫ケア領域(リンパ浮腫セラピスト)
- ②小児訪問看護領域
- ③緩和ケア領域
- ④指定難病領域
- ⑤訪問看護ステーションの運営管理領域

お困りごとの内容に応じて、協力ステーションと協働し対応致します。

窓口 ももの木訪問看護リハビリステーション

(豊能ブロック教育ステーション)

受付期間 2024年4月～2024年1月

受付時間 月～金 9:00-17:00

電話:06-6152-7640

「コンサルテーションの申込み」とお伝えください

FAX:06-6152-7650

裏面のコンサルテーション用紙をご使用ください



こちらのQRコードからも↑
お申し込みいただけます

電話サポート 目標1件/実績なし
対面サポート 目標1件/実績4件

サポート内容

1. 十二指腸チューブの刺入部の管理に困難をきたしていたケース
2. 小児の訪問看護やSTの導入が初めてというステーションに対するSTによるコンサルタント
3. うっ滞性皮膚炎・潰瘍に対するケアに対するコンサルタント
4. 高齢者の浮腫に対する圧迫療法導入に関するコンサルタント

ももの木訪問看護リハビリステーション(担当:金澤)
〒560-0084 大阪府豊中市新千里南町2-12-10
TEL 06-6152-7640 FAX 06-6152-7650

ももの木 訪問看護リハビリステーション



コンサルテーション事業を通しての気づき

効果

より専門的な知識を持ったものが一緒に介入させていただくことで、解決の糸口になっていることをコンサルタント側も実感できた。

課題

訪問時間だけでは、すべての情報をお伝えすることが難しく、**時間の確保**が課題

広報頻度：ブロック会議や連絡会議で**毎回発信を行う**

新規S Tへの広報：教育ステーションの取り組みや活用方法について、**丁寧に広報**



その他 地域活動

2024年6月1日

大阪府看護協会府北支部看看連携意見交換会

訪問看護STのACP支援の取り組みについて発表

2025年2月13日

循環器病対策における多職種連携推進事業

心疾患におけるACPについて

多職種パネルディスカッション パネリストとして参加

2025年3月8日

日本脳卒中学会 シンポジウム14

脳卒中患者への意思決定支援と代理意思決定支援

シンポジストとして発表



ブロックにおける協力体制について

協力ステーション 4事業所

協力ナース 皮膚排泄認定看護師1名、特定行為看護師1名

- ・ 豊能ブロックは役員を中心として**協力体制が非常に整っている**
- ・ 協働活動：年間計画立案会議
各地域への広報活動（豊中市、吹田市、池田市、箕面市）
研修会当日の運営や進行の協力

課題

- ・ 日頃からの顔の見える関係づくり
- ・ 地域のイベントや事業に関心を持って参加することも重要
- ・ 広報活動は計画的に実行できるように計画する



設定した目標の評価について

① 看看連携研修会

実参加 70名

豊能地域全体の顔の見える連携の強化に努めることができた
アンケート結果からも、多くの参加者に有用性を認められ
目標を達成できた

② 電話相談事業・訪問看護体験研修・コンサルテーション事業

さまざまな職種の方々の疑問や悩みに対応することができ、
地域の訪問介護事業の質の向上と促進に努めることができた
次年度は協力STや協力ナースに協力いただき、
→さらに活用数を増やしていくことが課題



事業全体の効果と次年度の課題

効果

年々、教育ステーション事業は地域では浸透
地域の訪問看護ステーションの質向上に継続的に貢献
できている事業

次年度の課題

- * 地域の介護や障害福祉や行政との連携も強化し、
教育ステーション事業を拡大
- * 新規ステーションが気軽に相談できる窓口
- * 既存ステーション 自分達の弱みを強みに変えて
いけるような支援
- * 教育ST自身も知識の向上に努め、効果的な支援体制を
構築していく

